

ささえあい安心して暮らせるまちづくり

香美町 

社協だより

第213号
令和4年12月22日発行

編集・発行  社会福祉法人 香美町社会福祉協議会
〒669-6545 香美町香住区森31-1 香美町香住地域福祉センター内
TEL 0796-39-2050 TEL 0796-36-2758 FAX 0796-39-2150
ホームページアドレス <https://www.kami-shakyo.org/>



とどけます みんなの元気

「無人であってもヒトの息づかいが感じられる場づくり」
まるまる
ステーション〇〇プロジェクト (香住駅)

無人になった区内の駅を地域で見守り、街に暮らす人の息づかいが感じられるような場づくりを、町内出身者らで立ち上げた団体「HiCO-BAY」(ひこべい)が始めました。

その第一弾イベントとして、香住駅の待合室を図書室に変えようという体験型の講座が11月19日(土)にありました。

当日は近隣住民だけでなく、初めて香美町に来た人たちも、おすすめの本を持ち寄り、貸出板と紹介文を付けたポップを作り、図書室を完成させました。

参加者からは「香住の玄関口である駅が、これをきっかけに賑わって欲しい」「駅を通して、もっと魅力のある街にしたい」と話していました。また、駅の利用者も「待ち時間が有意義になる」と話しました。

●● 今月の主な内容 ●●

- | | |
|--|--------------------------------------|
| 認知症になっても地域で暮らす「ケアニン
～ここに咲く花～」上映会を開催しました…2～3 | ひとり暮らし高齢者のつどい…………… 6 |
| ボランティアセンターだより…………… 4 | 募金百貨店プロジェクト・寄贈のお礼…………… 7 |
| 牛乳パック椅子について…………… 5 | 善意銀行だより・収集ボランティア・
社協のけいじばん…………… 8 |

 赤い羽根共同募金 助成事業

この広報誌は共同募金配分金の一部を活用し作成しています。

認知症になっても地域で暮らす

「ケアニン」ここに咲く花」 上映会を開催しました

認知症啓発映画「ケアニン
ここに咲く花」上映会
を11月26日・27日に香住・小
代・村岡の3会場で計4回開
催しました。但馬内各地から
合計135名の方にご参加い
ただきました。

この事業は、認知症につい
ての正しい理解を持ち、認知
症を理解する人を地域の中で
増やしていくため、また介護
に関わる人たちが前向きな気
持ちになったり、少しほっと
できたり、笑顔になってもら
えれば、と企画しました。



認知症について

先日発表された統計によ
ると、日本の65歳以上の
高齢者数は、3,627万人
で、昨年の3,621万人か
ら6万人増加しています
(総務省)。

高齢者が増加すると心配
されるのが、「介護」です。
厚生労働省の調べによると
その要因として最も多いの
が「認知症」で全体の
17.6%を占めており、そ
の次が脳の疾患（脳卒中や
脳梗塞）となっています。

認知症の最大の原因は、
加齢と言われており、年齢
が高くなるほど、発症する
可能性も高くなります。つ
まり、誰でも高齢になれば
発症する可能性があるとい
うことです。

2025年には、高齢者
の5人に一人が認知症にな
るという予測も出ています。
その対策として、

① 認知症になるのを遅くする、
進行を緩やかにする予防

の取り組み

② 認知症になっても自分ら
しく生き活きと暮らせる
地域づくり

この2つの取組みが重要とさ
れています。

この2つの対策は、どち
らか一方のみではなく、同
時に進めていくことが必要
です。

しかし、認知症に対して
はネガティブな印象が非常
に強く、「認知症になった
らおしまいだ」「何も判ら
なくなる」という声も多く
聞かれます。

認知症になっても、自分
らしく地域で生き活きと暮
らしていくためには、認知
症の本人や家族、専門職
(医療・介護・福祉に関わ
る人)だけでなく、地域の
みなさんの協力や理解が必
要です。

映画「ケアニン ここに咲く花」

この映画は、100人以上
が暮らす特別養護老人ホーム

が舞台です。

新卒から、主人公の大森圭は、小規模多機能施設で介護福祉士（介護する人リケアニン）として3年の経験を積み、この施設に転職するところから物語は始まります。前にいた施設とは介護が必要な利用者の状況や人数も違うため、サービスの内容や生活リズムも大きく異なることに戸惑います。

悩んだり、上司や仲間とぶつかったりしながらも「会話が難しくても、目や口のわずかな動きでサインを出している」「自分で全部できるようにする」「自分ですべてできるようにする」ようになる。人の手を借りてできるようになる、伴走型の自立支援をしている」ということを教えてもらう中で、チームワークを築いていきます。そんな中、圭は新しく入所してきた女性の担当になります。

女性は夫と2人暮らしで認知症。要介護4で、ほとんど言葉も発さず、家族のことも判りませんが、圭は「もっと、本人に寄り添いたい、そのために本人の人生を知りたい！」と、夫に「昔のことを教えて欲しい」とノートを渡します。

翌日、夫から渡されたノートには、出逢った頃からの夫婦の思い出がびっしり書かれています。その中に、夫婦のまだ果たされていない結婚式の約束がありました。

そこから、施設内での結婚式を挙げるため、圭は仲間を説得し、地域の協力者を集め、チーム一丸となつて、夫婦の結婚式のために奔走します。

劇中より

圭と仲間たちは「認知症は不便であっても不幸じゃない」

「認知症になっても、感情や愛情は無くならない」「家族は認知症になる前を知っているから、比べて苦しまれるんです。」「家族だから難しいことがある。他人だからこそ、できることもある」「効率や自分たちの都合を優先して、何のため福祉なんだ」「もっと利

用者さんの笑顔が見たい」「できない理由を探すんじゃないくて、できる方法を考えましようよ」など、心に残る言葉が多く映画の中



映画を観た方は…

でありました。

- 「認知症に対する見方が変わった」
- 「介護の仕事の大変さがよく分かった。感謝しかない」
- 「前向きな気持ちになることができた」
- 「人の心を大切にしたいと

思った」

○ 「介護している人の笑顔が一番に思っていることが間違っていないかと思えた」

○ 「認知症になったらどうしよう、という不安が少し和らいだ」

など多くの感想がありました。映画の上映を通じて、一人でも多くの方に認知症への理解が進み、安心して暮らせるまち香美町になればと思います。

認知症カフェ

「えんがわ」



香美町社協では、毎月第一月曜に開催している認知症カフェ『えんがわ』をはじめ、情報提供、啓発活動などを行政や関係団体と協力しながら行い、認知症になっても自分らしく暮らせる地域を目指していきます。
問合せ：社協本所 (0796)39-2050

ボランティアセンターだより

地域や人と
つながろう

ボランティア入門講座

ボランティアが気になって
いる人や何か始めてみたい人
また活動を見つめ直したい人
などを対象に、11月20日
(日)、村岡区と香住区の2会
場でボランティア入門講座を
開催しました。

講座では「自分発!!無理せ
ず、楽しく、ボランティア」
をテーマに、日本ボランティ
アコーディネーター協会の青
山織衣(あおやま おりえ)
さんに講演いただきました。



ボランティアの魅力

青山さんは講座の中で、「ボランティアで特に大事な
のは『主体性』や『自発性』
で、誰かに強制されてやるの
ではなく、『気になる』『ほっ
とけない』『好きだから』な
ど『自分発』で始まっていく
もの。だからこそボランティ
ア活動は多彩で柔軟性や機動
力があり、好きなテーマを選
べる。これがボランティアの
魅力」と話されました。

また、「新しい仲間を募る
とき、やりがいやその人が
求めているものをいかに充
たすかがコツ。『ありがと
う』とか『また来てね』は
大事なことで、自分が誰か
の役に立っているとか存在
意義があると思えることは
すごく重要」とアドバイス
しました。

思いを活かす活動へ

その後、点字や朗読、調理
高校生の町内ボランティアグ
ループによる活動紹介ビデオ
が流され、その中で様々な活
動内容や現在の課題など、そ
れぞれのメンバーが思いを語
りました。

活動紹介を通して、青山さ
んは「対象となる相手はもち
ろん、ボランティア仲間の思
いも大切に活動であって
ほしい。多様な選択肢や関わ
り方があってよいので活動を
細分化してみたり、若い人の
発想力を活かす場面を作るな
ど、ワクワクする感覚を今あ
る活動の中で新しい人に味わ
ってもらうことが大事」と訴
えました。

参加者のみなさんからは
「ボランティア活動には
色々あることが分かった。



自分にできることをやって
みたい」「子育てが落ち着き、
自分の時間が持てるようにな
ったので、何か役に立つ
ことがあれば参加したい」
「人に寄り添うことができ
ばいいな」などの感想をい
ただき、「自分発」の活動が
見つかりそうです。

香美町社協では引き続き学
びや体験の機会を創出し、本
来の目的や価値を大切にしな
がら、時代の流れに沿った新
しいボランティア活動の形を、
みなさんと一緒に作っていき
たいと思います。

牛乳パックのイスづくり ボランティア感謝状贈呈

平成30年、デイサービス利用者の「わしらも何か地域の役に立ちたい」という声から始まった、牛乳パックのイスづくり事業。

骨格作り、カバー作りを地域のボランティアさんに協力していただき、4年間で約630個のイスが完成しました。



▲橋 千秋さん(村岡)

座りにくい方も安心して集まれるようにと希望のあった各集落の公民館や保育園などの事業所に約360個を寄贈



▲九斗区有志のみなさん

しました。「イスのおかげで楽に立ち座りできて、具合がいい」「座れないし、もうサロンもやめようと思っていたが、もうしばらく来させてもらおう」など、多くの方に使っていたいただき、つどい場の推進につながりました。

また「自宅でも使いたい」という希望が多くあったことから、令和3年より個人向けに販売を開始し、114個

を購入いただきました。

また、「自分の好きなことがみんなの役に立ててうれしい」「足が悪いけどこれならできる」「みんなで相談しながら作っただけど：おしゃべりがメインだった」などボランティアさんも生きがいにも思ったり、楽しんだりして、作成してくださいました。



▲山崎 金郎さん(香住)



▲田尻 裕子さん(小代)

この度、町内の必要な場所にイスが行き渡ってきたことから、一旦、イスの作成と販売を終了します。

11月20日、21日にイスづくりにご協力いただいていたボランティアの方々へ、感謝状を贈呈しました。

力もコツも必要な骨格作りを丁寧に正確にしてくださいました。方々、より座り心地の良いもの、かわいらしいものをとワッペン

やレース飾りをつけ、唯一無二のカバーを作ってくださいました。長年のご協力、本当にありがとうございました。



田中 まつ子さん(村岡)▲



田尻 光子さん(小代)▲

牛乳パック椅子の個人向け販売は
令和5年1月未で終了

します。

集落への寄贈は、在庫がある限り継続しますので希望される集落は香美町社協本所・各支所へご連絡ください。

ひとり暮らし 高齢者のつどい



10月から11月にかけて、各区のひとり暮らし高齢者のつどいを開催しました。

【香住区】10月23日(日)香住文化会館にて、香住区ひとり暮らし高齢者のつどいを開催しました。

ウクレレと歌の「Cooney Club」の演奏と、村岡高校が作成した「南中ソーラン体操」を楽しみました。

「瀬戸の花嫁」や「竹田の子守歌」など懐かしい歌の数々に、一緒に口ずさむ方や「優しい音色に癒された」「なんだか若い時に戻ったような気分

分になった」と話されていていました。短時間での開催でしたが、「久しぶりに友達に会えて良かった」「楽しい時間を過ごして、元気が出た」との感想がありました。



【村岡区】11月18日(金)に「きらく」会を、秋のお出かけとして、ボランティアを含めて新温泉町方面に行きました。

当日は、天気も良く、絶好のお出かけ日和となり、参加者からは、「みんなの顔を見ることができて、とてもよい

一日でした。来年も参加したい」「普段、買えないものが見つかったので、孫のお土産にします」など感想がありました。



【小代区】10月28日(金)に「ほえみの会 秋のお出かけ」として、たじま高原植物園の散策や村岡区内での買い物、食事を楽しみました。

新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となり、近場で短時間のお出かけでしたが、秋晴れの中、植物園ではガイドの解説を聞きながら、色づき始

めた森の散策を楽しみました。久しく顔を合わせていなかった人たちが手を握りながら話している姿も見られ、参加者の皆さんからは「みんなの顔も見ることができ、一緒に美味しい食事もいただくことができ良かった。迷惑をかけることがあるかもと悩むこともあるが、やっぱり、お出かけするのは楽しみ。来年も元気に参加したい」と話しました。



香住鶴(株)募金百貨店プロジェクト ありがとうございました



10月1日～11月30日の2ヵ月間、香住鶴株式会社様ご協力のもと、「募金百貨店プロジェクト」を行いました。期間中は、従業員様をはじめ、たくさんのお客様にご協力をいただきました。ありがとうございました。



いただいた車いすは、社協本所にて、住民の方への無料の貸出用車いすとして活用させていただきます。ありがとうございました。

この度、関西遊技機商業協同組合（大阪市浪速区）様より、介助式車いす2台を寄贈いただきました。同組合様は、関西2府4県の社協や福祉施設へ車いすを寄贈するなど、社会貢献活動に積極的に取り組まれています。

車いすを寄贈
いただきました

年末年始について

誠に勝手ながら、右記の日程で社協の各事業を休業させていただきます。

ホームヘルパーのサービス業務・グループホーム「かがやき」は、**年末年始も営業**いたします。

香住区の配食サービスは、**12月30日から1月4日まで休業**します。

デイサービス「ほほえみ」は、**12月30日から1月3日まで休業**します。

香住ふれ愛介護センター(居宅介護支援事業所・訪問介護事業所事務所)・村岡居宅介護支援事業所・村岡訪問介護事業所事務所・村岡通所介護事業所・障害者相談支援事業所・外出支援サービス・村岡区・小代区の配食サービス・ふれあい交流館・いこいの里・社協事務所(香住・村岡・小代)は、**12月29日から1月3日まで休業**します。



社協のけいじばん



令和5年 1月

日時	内容	場所	備考
10日(火) 13:30~15:30	認知症カフェ 「えんがわ」	みんなの家 (香住区七日市249)	参加費100円/1人(茶菓子代)
12日(木) 13:30~15:30	結婚相談 (ほっとHOT)	香住文化会館 (香住区香住100-2)	無料 (予約不要。当日、会場へお越しください)
18日(水) 12:00~15:00	かあちゃん 食堂	みんなの家 (香住区七日市249)	500円/1食 予約をしてお越しください。
19日(木) 13:30~16:00	結婚相談 (ほっとHOT)	いこいの里 (小代区忠宮287)	無料 (予約不要。当日、会場へお越しください)
24日(火) 13:00~16:00	法律相談	香住文化会館 (香住区香住100-2)	無料(予約が必要。1人30分、先着6名) 担当: 野崎 佑也 弁護士
26日(木) 9:30~11:30	結婚相談 (ほっとHOT)	村岡区中央公民館 (村岡区村岡396)	無料 (予約不要。当日、会場へお越しください)

各種相談は町内どこでも受けることができます。
本所、各支所にお気軽にご相談ください。
※相談はいずれも無料です。※秘密は厳守します。
※感染症の状況により、事業を中止・延期することがあります。

お問合せは

香美町社会福祉協議会

香住区(本所) ☎(0796)39-2050
村岡区(村岡支所) ☎(0796)98-1000
小代区(小代支所) ☎(0796)97-2202

※善意銀行だより

(令和4年11月1日～30日)
(行政区順・敬称略)

この記事につきましては、ホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護により、掲載を控えさせていただきます。

※収集ボランティア

(令和4年11月1日～30日)
(行政区順・敬称略)

